

美濃加茂都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(概要版)

都市計画の目標

「歩いて暮らせる便利な”まちづくり」、 「健康に暮らすことができる”まちづくり」、 「安全・安心を感じることができる”まちづくり」、 「賑わいと活力のある”まちづくり」、 「歴史・文化・自然と調和した”まちづくり」を目標として、都市づくりの基本理念を次のよう設定します。

【都市づくりの基本理念】

健康に暮らすことができる、安全・安心で、賑わいと活力があり、豊かな自然、歴史・文化が調和したコンパクトな都市づくり

区域区分の有無

本区域においては、区域区分によらずとも用途地域指定等の方法により、無秩序な市街化を抑制し、良好な環境を有するコンパクトな市街地の形成と自然環境の保全が可能なことから、区域区分を定めません。

主要な都市計画の決定の方針

土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

住居系	低層住居地区	<ul style="list-style-type: none"> 本区域南部の鉄道沿線や幹線道路の整備によりアクセスが向上した地域は低層戸建住宅を中心とする住宅地として、ゆとりとのおいを感じることができる良好な居住環境の維持・向上を図ります。
	中低層住居地区	<ul style="list-style-type: none"> JR 美濃太田駅北側の既成市街地周辺や幹線道路沿道の地域は、高層住宅の混在を避けるなど良好な居住環境の維持・向上を図ります。 川辺町役場周辺の市街地は、遊休地や低・未利用地の宅地化を促進するとともに、住宅地内の緑化推進やダム湖周辺との一体的な景観整備を図り、うらおいのある居住環境の創出を図ります。
	一般住居地区	<ul style="list-style-type: none"> 既成市街地全般では、既に整備されたインフラなどの基盤整備を活かし、快適で安全・安心を感じることができる居住環境の形成を図ります。 美濃加茂市の蜂屋南地区周辺は、新病院（(仮称) 中部国際医療センター）の整備や関連する医療・福祉機能の集積を契機に、可茂地域全体の医療の増進に資する土地利用の誘導を図ります。
商業系	中心商業地区	<ul style="list-style-type: none"> JR 美濃太田駅南地区や JR 美濃太田駅北側の商業地エリア、中山道地区は、中心商業地区として、活力とにぎわいの創出に資する商業施設や事業所などの誘導を図ります。 JR 美濃太田駅周辺では南側の市街地再開発事業を契機に、老朽化が進む市街地の更新に取り組み、歩いて楽しめるまちなかの形成を図ります。
	近隣商業地区	<ul style="list-style-type: none"> (一)美濃加茂川辺線沿道地区を含む JR 古井駅周辺地区は、古井駅周辺の再整備等を進めながら、周辺地区の生活利便性に寄与する土地利用の誘導を図ります。
	沿道商業地区	<ul style="list-style-type: none"> (一)各務原美濃加茂線、(一)美濃加茂川辺線、(都)国道 248 号バイパス線及び中心商業地区や近隣商業地区と連担する主要幹線道路沿道は、沿道機能の増進やマイカー利用者の利便性確保等を目的とした、周辺環境に十分に配慮した商業施設や生活利便施設の誘導を図ります。
	大規模集客施設立地エリア	<ul style="list-style-type: none"> 大規模集客施設が立地している JR 美濃太田駅北側の商業地エリアを大規模集客施設立地エリアとして位置付け、機能の維持・更新を図ります。
工業系	<ul style="list-style-type: none"> (都)東海環状自動車道の整備に伴う高速交通体系の充実による利便性を活かし、インターチェンジ周辺やアクセス道路となる幹線道路沿線に新たな工業用地の検討・整備を図ります。 既存用途地域内工業地は、周辺環境との調和に配慮した良好な操業環境の維持・保全を図ります。 既存用途地域で住工混在により操業環境の維持が厳しい状況の場合は、土地利用動向を見極めつつ、必要に応じて都市計画手法の導入等も見据えながら将来的な土地利用のあり方を検討します。 	

都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

交通体系	<ul style="list-style-type: none"> (都)東海環状自動車道と本区域の幹線道路網とのネットワークを確立し、活性化を図るとともに隣接する都市との広域ネットワークの確立を図ります。 (都)東海環状自動車道のインターチェンジなどへのアクセス強化を図り、美濃加茂市と坂祝町、富加町、川辺町の一層の均衡ある発展と連携強化を図ります。 歩道等の歩行者空間のバリアフリー化を推進します。 商業地、住宅地の特性に応じ、誰もが安全かつ快適に歩行できる空間の確保を推進します。 公共交通の充実と自動車交通との連携強化を図ります。 JR 高山本線や JR 太多線の複線電化の促進、ダイヤの改善により、名古屋市への利便性の向上などの施策を進めます。 長良川鉄道越美南線は、観光列車「ながら」・デザイン列車の運行や PR 活動等を積極的に進め、その利用促進を図ります。 コミュニティバス等の維持や利便性向上を進めます。新たな公共交通システムについて検討します。 未完成路線については、必要性・効率性等を検証のうえ、必要に応じて見直しを行い、効率的な整備を進めます。 JR 美濃太田駅南側の市街地再開発事業にあわせて、周辺の都市計画道路の見直しを検討します。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> 公共水域の水質保全と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道事業を継続し、処理区域の拡大等を推進します。 雨水排除事業にも積極的に取り組み、排水対策を推進するとともに、流域全体の保水機能の維持向上のため、開発事業者に対しては、雨水流出抑制などの対策を実施する指導を図ります。 従前からの遊水機能を有する土地において、やむを得ない開発を行う場合には、事業者に対して、代替施策の実施により従前の保水・遊水機能を保全させるなど、総合的な治水対策を推進します。
河川	<ul style="list-style-type: none"> 地域整備と調和した修景に配慮した親水空間を創出し、暮らしと水との結びつきが体感できるまちづくりを目指します。

市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針

- 市街地整備は、既成市街地の再整備を優先して行い、集約型都市構造の実現を目指し、官民が協働した多様かつ柔軟な市街地開発事業等により良好な市街地の形成に努めます。
- 都市基盤が未整備な地区は、土地区画整理事業を中心に、居住地と道路や公園等の都市施設の一体的な整備とともに、住工混在の解消に努め、良好な住環境の形成を図ります。
- 将来発生する新たな市街地需要に対しては、計画的かつ具体的な市街地開発事業によって、良好な市街地環境の整備を図ります。
【優先的に実施する事業】
美濃太田駅南地区市街地再開発事業

自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針

- 河川緑地を軸とした緑のネットワーク、市街地の形態、公園整備の状況を踏まえ、既存公園の整備拡充を含め、歩いて利用できる街区公園を整備します。
- 飛騨木曾川国定公園に指定されている木曾川や飛騨川は、川沿いのプロムナード、親水公園等の施設整備とともに、シンボル景観にふさわしいグレードの高い水辺景観の保全・整備を図ります。
- 良好な里山の自然が多く残り歴史的な資源も散在しており、散策道等を整備し、自然に親しむ交流拠点としての利活用の整備を検討します。
- 木曾川、飛騨川及び津保川、川浦川や森林のもつ「うらおい」、「やすらぎ」を生活の中で感じることができる生活環境を創出するため、豊富な自然、田園を取り込んだ自然・レクリエーション機能を整備します。

